東京外国語大学 TUFS MOODLEマニュアル

オンライン教育支援室(olst@tufs.ac.jp)



ユーザ名	あなたのユーザ名またはパス ワードを忘れましたか?
パスワード □ ユーザ名を記憶する	あなたのブラウザのクッキー を有効にしてください。 💡
ログイン	

目次

1.1. <u>moodleとは</u>

- 1.2. moodleへのアクセスとログイン
- 1.3. <a>

 コースページを新たにつくる
- 1.4. コースページの編集
- 2.1. <u>資料の配布</u>
- 2.2. <u>課題の提出指示</u>
- 2.3. 「フォーラム」(意見交換の場)

2.4. 小テストをつくる

Moodleは、コンピュータを利用して教育・学習活動を支援するシステム です。インターネットにアクセス出来る環境があれば、いつでもどこからでも 利用出来ます。Moodleを使うと、例えば、次のようなことが可能になりま す。

- ・授業で使う資料の配布
- ・課題の回収
- ・学生とのコミュニケーション(質問、コメントの投稿)
- ・オンラインテストの実施

Moodleを利用するための方法

①下記URLからのアクセス

http://mdle2.tufs.ac.jp/moodle/

②東京外国語大学Webページからのアクセス

まずWebページを見るためのアプリケーションを起動し、次の手順で東 京外国語大学のMoodleのページを開いて下さい。

②東京外国語大学Webページからのアクセス
 (1)東京外国語大学Webページ(<u>http://www.tufs.ac.jp/</u>)を開く。
 (2)同ページ上部「在学生の方へ」をクリック



(3)「在学生の方へ」のページ下部までスクロールし「TUFS Moodle」をクリック



以下のような認証画面が表示されます。ここでユーザ名とパスワードを入力し、「ログイン」のボタンをクリックします。(ユー ザ名と青パスワードは、ともに、TUFS総合コラボレーションセンターから取得したものです。)



あなたはログインしていません。 <u>Home</u> <u>モバイルアプリを取得する</u>

ログイン後の画面

TUFS Moodle 2022	日本語 (ja) ▼	▲ 9876543 外大 太郎 · · · · ·	
	ログインしているユーザの名前		
東京外国語大学 TUFS	e-Learning 2		
Home	自分が登録しているコース は、マイコースにあります。	プロファイルやログアウトのメニュー	
ナビゲーション		はここ。	
✓ Home	ダッシュボードへ戻る 教員の皆様へ	作業を終えたら、ブラウザを閉じるのではなく、必ず画面右上の「ログアウ	
$\rightarrow \forall T \land \neg \neg$	電子黒板の導入について	ト」ボタンをクリックしてログアウトする。	
> Moodle TEST	利用方法は以下の動画をご覧ください。		

1.3. コースページを新たに作る ※moodle上で申請

TUF<u>S Moodle ホーム画面 ▼</u>



Home			
🛚 ダッシュボード	▶ すべてを展開	する	
> サイトページ	・その他		
マイコース	▶世界教養プログラム(Global Liberal Arts Program)		
~ J - Z	▶ 言語文化学部(School of Language and Culture Studies)		
> その他 > 世界教義プログラム	▶ 国際社会学部(School of International and Area Studies)		
(Global Liberal Arts	▶ 国際日本学部(School of Japan Studies)		
Program) 、 言語文化学部(School	▶大学院総合国際学研究科(Graduate School of Glad		
of Language and Culture	 英語学習支援センター(ELC) 		
Studies) > 国際社会学部(School of International and Area Studies) > 国際日本学部(School	・JLC1年コース	クエス	
	▶留学に関するコース ►オス」をク		
	・就職に関するコース) / /	
of Japan Studies) > 大学院総合国際学研究	TUFS Record		
科 (Graduate School of	▶ Moodleマニュアル		
Global Studies)	フースをリクエストする		



1.4. コースページの編集





※コースへの学生の登録方法
初期設定は「手動登録」(コース管理者が学生一人一人を手動で登録する必要あり)
→「自己登録」を有効にすれば、コースページへの登録は学生各自にやってもらえる。
自己登録を有効にするには、目のアイコンをクリックしてバッのマークを消す。
特定(授業に出た)学生にだけ登録させるような場合には、登録キーを使う。



2. moodleを活用する

2.1. 資料の配布

■ 授業内で使用する資料を、学生がセルフサービスで調達できるようにする

(レジュメ、パワーポイント、リーディングアサインメント etc.)





例:『第1週』セクションにレジュメ(Word形式)を置く(つづき)



17



例:『第1週』セクションにレジュメ(Word形式)を置く(つづき)



例:『第1週』セクションにレジュメ(Word形式)を置く(つづき)



2.2. 課題の提出指示

- レポート等の課題をオンラインで提出
- だれがいつ提出したか、一目で把握することが可能

例:『第2週』セクションに課題を設定する





22

②「課題」をクリック





>フィードバックタイプ

提出設定

グループ提出設定

▶ 通知

▶ 評点

▶ モジュール共通設定

▶ 利用制限

▶ 活動完了

▶ タグ

コンピテンシー

保存してコースに戻る保存して表示する キンセル マークが付けられたフィールドは必須人ルフィールトです。 設定可能な項目が多数あり ますが、なれないうちは何も 変更しないのがお勧め。

⑤「保存してコースに
 戻る」または「保存して
 表示する」をクリックで、
 課題の設定完了





2.3. 「フォーラム」 (意見交換の場)

■ 学生にmoodle上でディスカッションさせたり、質問やコメントを投稿させたりすることが可能



例:『第3週』セクションに「フォーラム」を設定する(つづき)



28



例:『第3週』セクションに「フォーラム」を設定する(つづき)



例:『第3週』セクションに「フォーラム」を設定する(つづき) ★ ディスカッショントピックを設けてディスカッションを開始する





例:『第3回』セクションに「フォーラム」を設定する(つづき)



2.4. 小テストをつくる

- 注意1:Moodle上では、小テストは「活動」の下位分類の1つである
- 注意2:小テストはあたかも1つのフォルダとして機能し、問題をそのフォルダの中に作成する これにより、問題の加減や順番の変更が容易になる

- Moodleで標準搭載されている、作成可能な問題タイプの例
 - ○/×問題 穴埋め問題 作文問題 多肢選択問題

例:『第4週』セクションに少テストを設定する



例:『第4週』セクションに少テストを設定する(つづき)



2.4.3. 「小テスト」を構成する「問題」を作成する

• 「小テストを編集する」ボタンをクリックする(下図、丸囲み)。



2.4.4.「〇/×問題」を作成する



2.4.4.「〇/×問題」を作成する(つづき)



2.4.5. 問題の順番を変えたり、問題を加えたりする



問題 カテゴリ インポート エクスポート							
問題バンク							
カテゴリを選択してください: H5Pのデモ のデフォルト (3) ◆							
コンテクスト「H5Pのデモ」で共有される問題のデフォルトカテゴリです。							
適用されたタグフィルタはありません。							
タグでフィルタする… 🔻							
□問題リスト内に問題テキストを表示する							
検索オプション 🔻							
✓ サブカテゴリの問題も表示する							
□古い問題も表示する							
新しい問題を作成する…							
	操作	作成者	最終更新				
 問題名 / IDナンバー 	<i>i=4</i> +	名/姓/日付	名/姓/日付				
□・・ インドの自都	編集 ▼	201 of 10 11	and set of the				
□•• カナダの首都	編集 🔻	man and all the	right and all this				
□•• 日本の首都	編集 🔹	A DECK AND AND AND AND	A REPORT OF A REPORT				
選択したものを:							
削除 移動 >> H5Pのデモ のデフォルト (3) ◆							

変更履歴

- 2015.04.08(5.1):ユーザ認証方法変更によるメール本人確認手順の記述削除
- 2015.04.13(5.2):コースの自己登録方法を登録方法の追加ではなく、有効化に記述を改めた。
- 2015.04.20(5.3):自己登録の既存の登録>yesの画像の赤枠囲み追加
- 2022.04.04(6.0):Moodle3.9.Xの画面で作成。
- 2023.02.03(6.1):旧Moodleサーバ(mdle.tufs.ac.jp)の情報が残っていたため修正。